

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		庁舎管理費 [節電対策]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業番号	1			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	総務管財課			課	庶務	係	課長名	宮田 智雄			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2			
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書 (ページ)	122			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	庁舎での電気の使用量				電力量(kWh)						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
電気の使用量を前年と比較して削減する。				前年と比較した電力量の割合 → (当年度の電力量/前年度の電力量) × 100%							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①空調の起動抑制 ②空調の設定温度を夏は28℃、冬は19℃に設定 ③クールビズ、ウォームビズの推進				①夏季は室温が28℃以上、冬季は服装で調節し適宜起動 ②③クールビズは5月～10月、ウォームビズは12月～3月							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	kWh	720,735	823,203	946,993					
	成果指標	②の数値	%	94.0	87.6	115.0					
	目標	②の目標値	%	95.0	95.0	95.0					
		目標値設定の考え方 事務に支障がない程度で電力量の削減に努める。									
活動指標	③の数値		—	—	—						
3 経費	事業費(実績)		円	14,848,442	14,572,372	186,736,565	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	14,848,442	14,572,372	186,736,565					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	5時間	5時間	5時間					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	21,500	21,500	21,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	14,869,942	14,593,872	186,757,565						
4 環境変化等	(1) 開始年度	不明 年度									
	(2) 環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年の東日本大震災により、東京電力の発電所に大きな被害が発生したことから、電力供給の安定化に資するために開始した。また、地球温暖化の防止や経費の削減も目的としている。 不用電灯の消灯や、空調のコントロールにより節電対策開始当初より使用電力が削減された。また、PPSの導入及び電力自由化の活用で、電気料金も削減された。 例年通り節電対策を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、季節を問わず、窓を開けた換気を行った。換気の影響で室内温度が適温でなくなり、空調機を常にフル稼働させる必要が生じたため、夏場及び冬場については、例年比で電気使用量が上昇した。 令和3年度より国が設定するクールビズ期間は廃止されたが、従来通りの期間(5月～10月)に環境省の通知に準じた夏季の省エネルギー対策を行った。 冬季についても同様に、12月～3月に環境省の通知に準じた冬季の省エネルギー対策を行った。 空調設備更新について、令和2年度に庁舎冷温水発生機基本設計委託を、令和3年度に空調設備更新工事実施設計委託をし、令和4年度は機器の更新を実施する。 									

事業名称	庁舎管理費 [節電対策]			
担当部署・課長名	総務管財課	課	庶務	係 課長名 宮田 智雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
特になし		
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)	
	令和2年度に実施した、庁舎冷温水発生機基本設計委託をベースとした、空調設備更新工事実施設計委託を活用し、効果的な節電対策を行える設備設計を目指す。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。	
	空調設備更新工事実施設計委託を行い、令和4年度実施予定の空調設備更新工事に向け省エネ性能の高い機器を剪定する等、方針・スケジュールを固めた。	
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)		
令和3年度に実施した、空調設備更新工事実施設計に基づき、効果的な節電対策を行える設備更新を目指す。		
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	
施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現		
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	【取組内容】 庁舎トイレ照明の人感センサー化と照明器具のLED化への移行に伴い、消費電力の軽減に向けたモデルとしていく。	
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
今後の全庁的な取組に向けて、公共施設等マネジメント課、建築課、環境対策課等、関係部署との連携を強化する。		